

学びの本拠地、ホームタウン松沢 (HOMETOWN HISAWA)

# 松っ子だよ!

平成29年 2月 1日(水)  
松沢小学校だよりNo. 9  
文責: 校長 星 俊 夫

## ☆スキー教室が無事終了しました。

第1回目の集合写真 ※第2回目の写真はホームページに掲載



1月20日・26日のスキー教室は、絶好の天候に恵まれ無事終了しました。多くの保護者の方に指導者そして昼食等のお世話をさせていただきありがとうございました。毎年のことながら、実技指導では安全に配慮しながら本当に丁寧に指導していただいているなあつくづく感じました。また、昼食の配膳でも保護者の方が一人一人の児童に目を配ってくださいました。お陰様で、事故や怪我もなく児童全員参加の楽しく充実したスキー教室を実施できました。感謝申し上げます。

さて、3学期が始まって3週間が過ぎました。子どもたちは寒さに負けず元気に生活しています。今年も、一人一人の課題をしっかりと理解するとともに、個性やよさをその子の「強み」ととらえ、子ども自身に気付かせ、生かし伸ばしていくことを学校で何よりも大切にして取り組んでいきます。

## ☆自分らしさが、見えてきました。感じました!

2学期の終業式で出した「自分らしいところ」の宿題ですが、今、学年毎に校長室に来てもらい、一人一人の聞き取りをしている所です。(なかなか時間がとれなくてようやく1年、2年、3年生まで終わりました。)

実際に、一人一人に話を聞いていると、なるほど、その子らしさが感じられます。人とのかわりにおいて、とらえている「自分のよさ」は様々です。

遊びにさそ、おしえてあげる、がまんして自分の物をかしてあげる、お母さんのお手伝い、お父さんの肩もみ、仲良くてできる、スリッパをそろえる、トイレで流れてないところを流す、など沢山できてきました。

腕白坊主の〇〇くんは、人とのかわりから「自分らしさ」を捉えているようです。心の中は相手とのかわりを大切に考えているんですね。今まで見えなかった子どもたちの「自分らしさ」に驚きと感動をもらいました。

心理学者の多湖輝(たごあきら)氏の著書の中に「子どもに固定したイメージを持つと、子どもの可能性は広がらない。」という言葉があります。

子どもたちは、体だけでなく心も日に日に成長しています。行動だけでなく一人一人のものの考え方も変わって(学習して)いきます。プラスの言葉をシャワーのように浴びせながら、一人一人の理解に努め、豊かな心を育てていきたいと思いました。

〇〇くんは、「自然を見てきれいだと思える。」こんなふうに「自分らしさ」を書いていました。新年早々、さわやかな感動をいただきありがとうございます。

## ☆吉田先生お世話になりました。学活(2年) 感謝を伝える送る会



↑ 1月18日学活(計画づくり)

← 1月27日 吉田先生を送る会

担任の本田先生が校外の研修で出張の日、年間をとおして吉田昌之先生が2年生を指導してくださいました。教職経験豊かでやさしい吉田先生の指導のおかげで2年生ものびのびと学習できました。ありがとうございました。感謝の気持ちを伝えようと、2年生と本田先生で計画づくりを1月18日に行い、27日は短い時間でしたが、「吉田先生をおくる会」を行い感謝の気持ちを伝えました。

私は、18日の学活(計画づくり)の授業を参観させていただきました。感心したことは、2年生全員が自分の考え(送る会の持ち方)をしっかり発表していたことです。特に、学級全体が落ち着いており、まるで高学年の児童が話合っているような自発的な雰囲気は漂っていました。萩吾くんの司会も、みんなの考えをよくまとめることができ見事でした。子どもたちの成長を感じます。

◎ 教師にとって最大の喜びは、「まるで私が存在しないかのように、子どもたちが勉強している」ということができることである。マリア・モンテッソーリ(1870~1952)の言葉より

## ☆長井・横田チームの食育授業(3・4年) ◎食べ物の栄養について知ろう



→ 横田先生

→ 授業風景



1月31日の5校時、長井卓也先生と給食センターの栄養教諭、横田みえ子先生がT・T(チーム・ティーチング)で食育の授業を実施しました。授業のねらいは、「苦手な食べ物も大切にしている心情を高め、食べ物には健康な体づくりに欠かせない働きがあることに気づかせ、苦手な食べ物も食べようとする意欲を高め、実践的態度を育てる。」ことです。

子どもたちは、それぞれ苦手な食べ物がありますが、どうしたら食べることができるようになるか自分の考えをのびのび発表し合いました。

なんとかして食べようとする意欲の発表とあわせて、家族の人たちとのかかわりから、海苔巻きにする、好きな食べ物と混ぜる、小さくきざむなどいろいろな方法が出てきました。

お母さんやおばあちゃんの日頃の苦労を振り返り、感謝の気持ちを抱きながら、苦手な食べ物を克服しようとする姿が見られた授業でした。みんなでバランスのよい食生活に気をつけましょう。長井・横田チームの息の合った指導に、子どもたちの心は栄養満点です。